



えどがわ SHO・KU・I・KU STORY



～江戸川区の食育の取り組み～

健康で豊かな人生は「食」に支えられています。

江戸川区は多岐にわたる食育の取り組みで

健康寿命の延伸を目指しています。

それぞれの活動のSTORY をご紹介します。



発行:江戸川区



●はじめに	1
●江戸川区の食育	2
●食育の取り組みの経過	3
●食育推進標語	3
●えどがわおいしいメニューグランプリ	4
●食育推進連絡会	6
●食育推進会議	6
●食育の取り組み事例	
<食育連絡会の取り組み>	
・NPO法人えどがわエコセンター	8
・江戸川区子ども会連合会	10
・江戸川区農業経営者クラブ	12
・東京スマイル農業協同組合	14
・江戸川区私立幼稚園協会	16
・江戸川区認可私立保育園保護者連絡協議会	18
・江戸川区私立保育園園長会	20
・江戸川区医師会	22
・江戸川区歯科医師会	24
・江戸川区薬剤師会	26
・江戸川区食品衛生協会	28
・江戸川区ファミリーヘルス推進員会	30
・江戸川区地域活動栄養士会E. S. K.	32
・えどがわっ子食堂ネットワーク	34
<食育推進委員会の取り組み>	
・環境推進課	38
・健全育成課	40
・産業振興課	42
・保育課	44
・小学校	46
・中学校	48
・健康推進課	50
・生活衛生課	52
・健康サービス課	54
●食育推進事業一覧	56

●はじめに

「食を通した健康寿命の延伸」を目指して



江戸川区では、「食育とは、さまざまな経験を通して『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」とし、食育推進を通して健康寿命の延伸を目指しています。

平成21年度より食育ネットワーク会議（食育推進連絡会・食育推進会議）を発足し、区民と区が一体的に推進するため、食育関連機関・団体と区の関係部署が連携しながら様々な食育活動を推進してきました。

この度、食育推進連絡会発足から10年が経過し、今までの活動の集大成として食育事例集「えどがわSHO・KU・I・KU STORY」を作成しました。区民の方々に食育の取り組み活動を知っていただければと思います。また、各活動団体が、様々な事例を共有し合うことで、新たな取り組みの実施やさらなる食育推進の連携が深まり、食育実践の環が広がっていくことを期待します。

本事例集の作成にあたり快くご協力いただいた関係機関・団体の皆様に、心より御礼申し上げます。

令和2年3月

江戸川区長 青藤 猛

●江戸川区公式ホームページ



●江戸川区の食育

江戸川区では、食育に係る課題として若いころからの生活習慣病の予防、朝食の欠食や栄養の偏りの防止、経済的理由等による子どもへの食支援、高齢期のフレイル予防、食環境への配慮などが挙げられます。

そこで、国の第3次食育推進基本計画で示された5つの重点課題に基づき、区独自の3つの柱に対応する食育方針を設定し、関係団体等と連携して様々な取り組みを行っています。

① 若い世代から食育を進め健康寿命の延伸につなげる	② 高齢期のフレイル予防	③ 食の循環や環境を意識した食育の推進
朝食喫食、栄養バランスの良い食事、規則正しい生活リズムなど、子どもの頃から望ましい生活習慣を獲得し、将来の生活習慣病予防につなげていきます。	高齢化社会において、低栄養の予防などを推進し、より元気な高齢者を増やします。	食事を大事に感謝する気持ち、地産地消、などを推進します。

▼食育関連の主な取り組み▼



* 「政府広報オンライン」より

<ul style="list-style-type: none"> ・ハローベビー教室 ・妊婦面接 ・妊婦歯科健診 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児・保護者への食育実施 ・乳幼児健診 ・幼児歯科健診 ・保育園歯みがき指導 ・保・幼稚園からの食育情報提供 ・オリパラ・郷土料理給食 ・食の支援事業(おうち食堂、ごはん便) ・離乳食講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会キャンプ時の食育 ・小中学校食育全体計画、年間食育指導計画に基づき食育推進 ・給食の紹介各校ホームページ ・オリパラ・郷土料理・和食・小松菜給食、食文化 ・中高生の農作物の栽培、中高生 kitchen ・小中学校でのがん予防出前教室 ・給食後の歯磨き推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー健康アップ ・生活習慣病予防イベント ・骨粗しょう症予防教室 ・減塩大作戦 ・食育講演会 ・食育講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康講座 ・口腔疾患の予防活動 ・薬と食、健康についての啓蒙活動 ・熟年者グループの料理教室 ・配食サービス ・栄養かぞえ歌 ・健口体操 ・えどがわ筋力アップトレーニング出張講座 ・フレイル予防セミナー
<ul style="list-style-type: none"> ・「もったいない」の実践を普及啓発 ・エコタウンえどがわ推進計画の推進 ・Edogawa ごみダイエットプラン ・安全・安心な作物や体験の場を提供 ・地場野菜親子料理教室 ・店内での食育普及啓発(料理講習会実施、普及) ・小松菜等の地場産物の提供、普及啓発 ・冊子「小松菜力」の発行、小松菜スタンプラリーの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・直売マップの配布 ・農業体験(区民農園、ふれあい農園など) ・地域で料理講習会の実施 ・食品衛生街頭フェア、食品衛生大会 ・行事食、日本(郷土)料理、食文化 ・子ども食堂 ・全世代型食堂 ・えどがわおいしいメニューグランプリ 		

●食育の取り組みの経過

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
主 な 事 項	H20年度 食育推進計画策定					計画 評価	取り組 みの 整理	成人への 食育推進			誕生日前～若い世代の 生活習慣病予防		3つの食育方針
	H21年度～食育推進会議発足(庁内)・食育推進連絡会発足(庁外)												
	H22年度 食育推進標語作成					H26年度～ 食育講演会開始							
	H22年度 庁内栄養士連絡会発足					食育ホーム ページ開設							
	H23年度第1回えどがわおいしいメニューグランプリ開始 第2回⇒第3回⇒第4回⇒第5回⇒第6回⇒第7回⇒第8回⇒第9回 H26年度より入賞メニューをレストランにて提供												

平成21年度、食育推進計画策定に伴い、食育関係機関・団体による食育推進連絡会、庁内関係部署による食育推進会議が発足しました。平成22年度、食育推進標語が作られ、食育活動の普及啓発に取り入れられました。

また、食育関係者の協働による「えどがわ おいしいメニューグランプリ」は、小中学生を中心に参加型のイベントとして実施されています。平成26年度からは全世代向けに食育講演会を開催し、食育の啓発に力を注いできました。

今後も関係団体と区が連携して様々な分野から継続的に食育活動に取り組んでまいります。

●食育推進標語



平成22年12月の食育推進連絡会で、江戸川区の食育推進のための標語が多くの提案の中から決定されました。

どこでも誰でも、食事の時に「おいしいね！」と声を出してコミュニケーションをとりながら食べることの大切さを、食に関する様々な場面で普及していきます。

● えどがわおいしいメニューグランプリ

えどがわおいしいメニューグランプリは、楽しみながら食事を考えることで、食について興味や関心を持ってもらえるよう、食育推進連絡会と区の協働により、平成23年度から始まりました。多くの皆様にご参加いただき、令和元年度で第9回を迎えました。



回	テーマ	応募件数 (応募人数)	部門	グランプリメニュー
1	朝食簡単メニュー	305	ファミリー	パリッとケチャップライス春巻き
			中学生	夏野菜とベーコンの洋風味噌汁
			一般	小松菜たっぷりおにぎりバーガー
2	朝食メニュー	493	ファミリー	具だくさんのスープごはん～塩こうじ味～
			中学生	カルシウム沢山！小松菜ふりかけ
3	一緒に食べたい 朝食メニューおかず	789	ファミリー	はんぺんと野菜のオムレツ
			中学生	包丁いらず！！肉だんご入りコーンスープ
4	野菜もりもり元気メニュー	855	ファミリー	小松菜キッシュ風
			中学生	トマトたっぷりピリ辛そうめん
5	〇〇さんに食べてもらいたい 野菜もりもり元気メニュー	1366	ファミリー	野菜たっぷり食べるスープ
			中学生	カラフルソースとレンコンのはさみ焼き
6	〇〇さんに食べてもらいたい 塩分ひかえめおいしい料理	1656	ファミリー	豚肉とナスのレモンしょうがだれ
			中学生	ぶた肉の黒酢煮
7	〇〇さんに食べてもらいたい 塩分ひかえめおいしい料理	2476 (3267)	個人	朝食にぴったり！かぼちゃとアボカドトースト
			団体	レンコンととうふのさっぱりハンバーグ～ナスとトマトソース～
8	〇〇さんに食べてもらいたい お手軽バランスメニュー 主菜のおかず	4621 (5365)	個人	長いもとプルーンの豚バラ焼き
			団体	夏野菜で色とりどりのボロネーゼ
9	お手軽バランスメニュー 野菜のおかず	4354 (4772)	個人	トマトと切り干し大根のさっぱり和風サラダ
			団体	シャキシャキ長芋と野菜炒め

★詳細は、江戸川区ホームページ [メニューグランプリ](#) 検索 を！

第 1 回



第 2 回



第 3 回



第 4 回



第 5 回



第 6 回



第 7 回



第 8 回



第 9 回



●食育推進連絡会

【機関・団体】

1. NPO法人えどがわエコセンター
2. 江戸川区子ども会連合会
3. 江戸川区農業経営者クラブ
4. 東京スマイル農業協同組合
5. 江戸川区私立幼稚園協会PTA連合会
6. 江戸川区私立幼稚園協会
7. 江戸川区私立保育園保護者連絡協議会
8. 江戸川区私立保育園園長会
9. 江戸川区立小学校PTA連合協議会
10. 江戸川区立中学校PTA連合協議会
11. 江戸川区医師会
12. 江戸川区歯科医師会
13. 江戸川区薬剤師会
14. 江戸川区食品衛生協会
15. 江戸川区ファミリーヘルス推進委員会
16. 江戸川区地域活動栄養士会 E.S.K.
17. えどがわっ子食堂ネットワーク
18. 江戸川区健康部

【アドバイザー（学識経験者）】

相模女子大学 教授 吉岡有紀子



江戸川区と区民が一体となった食育活動を推進するために、食育の関係機関・団体からなる食育推進連絡会及び、関係部署からなる食育推進会議を設けています。

区の食育の方針に沿い、環境、文化、産業、福祉、教育、健康等の各分野の機関・団体と連携し、取り組み状況を把握し、情報を共有しながら、総合的、一体的に進めていきます。

●食育推進会議

1. 環境部環境推進課調査係
2. 環境部清掃課ごみ減量係
3. 文化共育部健全育成課青少年係
4. 文化共育部健全育成課共育プラザ
5. 生活振興部産業振興課農産係
6. 福祉部福祉推進課孝行係
7. 子ども家庭部子育て支援課推進係
8. 子ども家庭部保育課保育園担当係
9. 子ども家庭部保育課給食指導担当係
10. 子ども家庭部児童女性課成長支援係
11. 教育委員会学務課給食保健係
12. 教育委員会小学校
13. 教育委員会中学校
14. 教育委員会指導室
15. なごみの家運営係
16. 健康部健康推進課計画係
17. 健康部江戸川保健所
生活衛生課食品衛生第二係
18. 健康部地域保健課
19. 健康部健康サービス課

●食育の取り組み事例

<食育推進連絡会>

▼江戸川区の目指す食育の3本柱▼

江戸川区食育推進連絡会の参加機関・団体は、

- **ピンク** ①若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
 - **オレンジ** ②高齢期のフレイル予防
 - **みどり** ③食の循環や環境を意識した食育の推進
- をテーマに、多岐にわたる食育の取り組みを行っています。

NPO 法人
えどがわエコ
センター

8

江戸川区
子ども会連合会

10

江戸川区
農業経営者
クラブ

12

東京スマイル
農業協同組合

14

江戸川区
私立幼稚園
協会

16

江戸川区
私立認可保育園
保護者連絡
協議会

18

江戸川区
私立保育園
園長会

20

江戸川区
医師会

22

江戸川区
歯科医師会

24

江戸川区
薬剤師会

26

江戸川区
食品衛生協会

28

江戸川区
ファミリーヘルス
推進員会

30

江戸川区
地域活動
栄養士会
E.S.K.

32

えどがわっ子
食堂ネットワーク

34



エコクッキングで減らそう！食品ロス

NPO 法人
えどがわエコセンター

目的 食品ロス削減のため、ごみを減らし、資源・エネルギーを大切に調理方法を紹介する。
対象 一般 40名

江戸川区が目指す食育の3本柱 ＜当てはまるもの＞

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 食品ロスを減らす
- # 地元の食材を使っている

内容

- ① 食品ロスの現状と、江戸川区の取り組み紹介 江戸川区清掃課ごみ減量係長
- ② 「食べきりレシピ」実践指導 倉内 皓子 氏（「エコ・クッキングを楽しむ会」代表）
[調理メニュー] 切干大根の簡単煮（倉内氏提案の「食べきりレシピ」）/小松菜と雑魚のませご飯 / 小松菜とわかめのお味噌汁

食育に関連すること

江戸川区では、食品ロス削減のためのキャンペーン「えどがわ食べきり推進運動」の一環として、普段何気なく捨てていたり、余りがちな食材を使った「食べきりレシピ」を、区民から募り、紹介している。

乾物を捨てずに使う事例として「切り干し大根の簡単煮」、地元食材（江戸川産小松菜）を使用する事例として、混ぜご飯とお味噌汁の調理実践を行う。

やってみて感じたこと

参加者アンケートの記述欄に、「えどがわ食べきり推進運動」を知り、実践したいという感想があった。今後も区役所とより連携を深め、「食品ロス」削減等の施策を広める窓口として役割を果たせるよう、講座の質の向上と、参加者の拡大に努めていきたい。

区民が参加できる食育の取り組み

食品ロス削減等、環境負荷の軽減のため、ごみを減らし、資源・エネルギーを大切に暮らす方を楽しく分かりやすく伝える講座・講習を開催。

機関・団体のPR

えどがわエコセンターは「フードドライブ」や環境に配慮した料理（エコ・クッキング）等の「食」に関わる取り組みを含め、環境に配慮した暮らしをすすめる様々な講座や教室を開催しています。地球温暖化防止をはじめ、持続可能な地域社会を目指しています。

連絡先： 認定特定非営利活動法人えどがわエコセンター

電話： 03-5659-1651 e-mail： edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

代表者： 理事長 岩瀬 耕二

● NPO 法人えどがわエコセンターの取り組み

第 4 回 おきがる環境講座※ 「エコクッキングで減らそう！ 食品ロス」

9/20 (木) 15:00~16:30 グリーンパレス料理講習室

参加者 11 名 (性別内訳は、男性 1、女性 10、年代内訳は、60 代が 45%、40 代が 18%)



『エコ・クッキングを楽しむ会』とのコラボレシピ！
切干大根の簡単煮
 期間切れ前に残物を使い切りましょう。出汁を揚げ蒸し鶏の味を楽しみます。
 作りかからず！
 調理時間 30分
 作業者：ヒロビト一彦
 材料 (2人分)
 切干大根：1袋 煮干し：5本 醤油：大さじ1
 干し椎茸(スライス)：1袋 昆布：10cm 酒：大さじ2
 味噌：2袋 水：500ml みりん：大さじ1
 作り方
 ① 煮干しを本と昆布10cmを水500mlに漬けて出汁を作る。
 ② 切干大根は水でしっかりと洗い、たっぷりのお水で10分粒取り。塩味は簡単に洗い流し、塩分が落ちて5mm幅に切る。
 ③ フライパンで切干大根、干し椎茸、味噌を、油を入れて水に入れて煮る。
 ④ 酒、みりん、最後に醤油を軸に入れ、煮立ったら火を弱め、蓋をして15分煮る。(時々混ぜる)
 『エコ・クッキングを楽しむ会』はえどがわエコセンターの団体会員です。料理教室などを開催し、環境に配慮する食生活をすすめています。

おいしく!たのしく!食品ロス削減!
食べきりレシピ大募集!!
 普段何気なく捨てていたり、余りがちな食材を使った食べきりレシピを大募集!
 使用方法
 ① 募集期間(9/20~9/25)は毎日10時~18時受付です。またレシピカードとしてイベントでも配布します。その際にも「食べきりレシピ」募集ポスターを配布し、各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。
 ② 募集期間中に「食べきりレシピ」募集ポスターを各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。
 ③ 募集期間中に「食べきりレシピ」募集ポスターを各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。
 ④ 募集期間中に「食べきりレシピ」募集ポスターを各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。
 応募要件
 ① 募集期間中に「食べきりレシピ」募集ポスターを各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。
 ② 募集期間中に「食べきりレシピ」募集ポスターを各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。
 ③ 募集期間中に「食べきりレシピ」募集ポスターを各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。
 ④ 募集期間中に「食べきりレシピ」募集ポスターを各店舗に貼付し、スタッフやボランティアの協力を得ていきます。

※「おきがる環境講座」は、環境について学び考え、日常的に地域で活動することができる区民を育成することを目的とする、江戸川区委託人材育成事業。

「食品ロス」削減を目的とした、フードドライブの取り組み

区内各地で行われた、地域まつり 10カ所にて回収

<平成 30 年度実績>

回収品目 インスタント食品 44%、
 缶詰 13%
 回収点数 1,365 点
 回収量 394.58 キログラム
 持込み者 61 名



キャンプ炊飯活動

江戸川区子ども会連合会

目的 炊飯活動で自ら料理（カレー作り）を修得させる。

対象 小学5・6年生

江戸川区が目指す食育の3本柱 ＜当てはまるもの＞

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の
延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 炊飯活動を通して火起こしから包丁、
料理を体験し、衛生、食材の取り扱い
を学習して食の大切さを認識する。

内容

ジュニアリーダー講習会を通じてキャンプ炊飯活動体験して、小学5・6年生に自ら材料、食器、消毒から調理、盛り付けまで、協力してプログラムを組んでいき、食事の大切さを学習する。

食育に関連すること

全体プログラムの一部であるが、キャンプ2泊3日を通じて、規則正しく、3食を食する事の重要性。

やってみて感じたこと

朝食抜きの生活をしている児童が多く感じられのだが、2泊3日を終わると、規則正しい生活、および食事の大切さも感じる。

区民が参加できる食育の取り組み

子ども会活動の中に親子キャンプ教室を推奨している。

機関・団体のPR

江戸川区子ども会連合会は、区内に支部62団体から組織されているボランティア団体です。事務局は区青少年係。

連絡先：江戸川区子ども会連合会

電話：03-3678-0394

e-mail：hanamata.394@ezweb.ne.jp

代表者：金杉 正成

●江戸川区子ども会連合会の取り組み



安全・安心な作物の提供等

江戸川区農業経営者クラブ

目的 安全・安心な作物の提供や収穫体験の場を提供し交流を積極的に行うことにより、地域住民の方々の農業に対する理解を深める。

対象 全区民

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

圃場見学や収穫体験、直売による地元産の新鮮野菜の販売を通じて、地元産の野菜、農業に親しみを持ってもらい、地産地消を推進する。

内容

- ・ 各種イベント(花の祭典等)での安全安心な新鮮野菜の直売
- ・ 経営者クラブ会員圃場にて、小学生の収穫体験等の実施
- ・ 他自治体等の農地視察の受入れ

食育に関連すること

若い世代から圃場で土に親しみ地元産の野菜に接することは、とても大切なことであると感じる。

やってみて感じたこと

直売での野菜販売は、直接住民と接し生の声を聴くことが出来て、非常にやりがいを感じる。

小学生の圃場見学・収穫体験は、野菜の育つ過程を知り、直接土に親しみ、自ら収穫の体験が出来るので、食育の観点から見ても非常に有意義であると思う。

区民が参加できる食育の取り組み

イベントでの農産物の直売、圃場見学、収穫体験

機関・団体のPR

都市の進展に適応した企業的農業経営の確立並びに農業と都市との調和ある発展を目指し、調査研究を行い、もって農業者の地位の向上と地域社会の発展を資することを目的とする。

様々な形で、江戸川区の農業振興に貢献したい。

連絡先： (事務局) 産業振興課農産係

電話： 03-5662-0539

代表者： 真利子 伊知郎 (農業経営者クラブ 会長)

●●江戸川区農業者経営クラブの取り組み

○イベントでの新鮮野菜の直売



○小学生の圃場見学受入れ



○共育プラザへの小松菜の提供



○経営者クラブ会員による小松菜のPR



○収穫体験



○他自治体等の視察受入れ



ちゃぐりんフェスタ 親子 de クッキング

JA 東京スマイル
江戸川地区女性部

目的 区内在住の児童、保護者を募り、JA 女性部と学校栄養士との地産地消料理教室を通じ、食の大切さ(食育)、都市農業の存在価値を高める食育活動を拡充する。

対象 江戸川区内在住の児童(低学年)・保護者を対象に 12 組(広報えどがわ 7 月号で公募)。

江戸川区が目指す食育の 3 本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

JA 組合員(農家) 組織団体が講師をするセミナー授業や朝採れ新鮮野菜を使う料理では、学校栄養士が補助につくので、保護者も安心して一緒に地産地消の原理を学び、更に安全安心の食のありがたさも理解する。

内容 一日のスケジュール

- ① 食育紙芝居(女性部) 食事の食べ方や食品ロスに関連した内容
- ② 食育授業(青年部) 江戸川区の特産、小松菜等に関連した生産、流通について
- ③ 料理教室(女性部と学校栄養士) 区内朝採れ新鮮野菜を使い地産地消を肌で感じる
- ④ 一緒にいただきます(全員) 一緒に食卓を囲む大切さを学ぶ

食育に関連すること

低学年児童が初めて野菜に触れ料理をするきっかけ作りになっている。学校栄養士との連携で献立も安心。江戸川区の農業を通じ地産地消の原理が学べる。

やってみて感じたこと

児童だからこそ大人が考えない質問があり、主催者側も勉強になった。例年 7 月末開催なので夏休み自由研究の題材になり好評である。行政、関連機関との連携により地域に密接した活動になり JA 地域振興事業の拡充を担っている。

区民が参加できる食育の取り組み

江戸川区イベント(花の祭典・区民まつり)で都市農業 PR を兼ねた手作り小松菜饅頭・新鮮野菜の購入。各店舗で開催する地元農作物に特化した地域イベントの来場。小松菜をテーマにした『えどちゃん音頭』への参加。JA 東京スマイル農産物直売所えどちゃんショップで区内産新鮮野菜の購入。

機関・団体の PR

JA では生産者を通じた学校給食の参入等、他にも様々な都市農業を応援する事業を実践しております。また、当 JA 女性部は、更に安泰した生活の向上を求め、地域高齢者福祉活動や女性大学、料理教室等のカルチャーも行っております。(活動の様子は JA 東京スマイルのホームページをご覧ください。)

連絡先: JA 東京スマイル 営農指導課

電話: 03-5680-8953 e-mail: einou4_smile @smile.jatokyo.or.jp

代表者: 江戸川区エリア担当 JA 事務局 藤掛 佳子

● ● 東京スマイル農業協同組合の取り組み



江戸川区イベント参加
女性部小松菜饅頭 販売の様子①



江戸川区イベント参加
女性部小松菜饅頭 販売の様子②



J A女性部主催 親子deクッキング
食育紙芝居の様子



J A女性部主催 親子deクッキング
料理教室の様子



J A東京スマイル直売所 えどちゃんショップ
～安全・安心!!新鮮な野菜を食卓に～



J A女性部主催 親子deクッキング
J A青年部 食育授業の様子



JA 東京スマイル 小中学校一斉学校給食事業
採れたての小松菜を給食メニューにどうぞ!



JA 東京スマイル 小中学校一斉学校給食事業
JA 青年部 出前授業

ジャガイモの栽培

江戸川区私立幼稚園協会
(東一の江幼稚園)

目的 ジャガイモ栽培を通じて、食育に関心をもつ。

対象 5歳児年長組

江戸川区が目指す食育の3本柱 <当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

自分たちの手でジャガイモの種芋を植え、大根の種まきから収穫まで行い、それを食する。自分で栽培をすることにより、収穫したものに愛着を持ち、偏食の是正につなげる。

内容

- ① 2月末に幼稚園の畑に、年中組の時に、実際に自分たちの手で種芋を植え、年長組の6月に、ジャガイモの葉と茎が黄色になったら、ジャガイモ堀を自ら経験し、収穫したジャガイモを利用して、園児たちがグループになって幼稚園で味付けなどを工夫してカレーを作る。
- ② 9月中旬に年長組園児が畑に大根の種を蒔き、12月に自ら大根を抜いて自宅に持ち帰る。自宅で保護者に調理してもらい、その結果を、友達や先生に伝える。
- ① ②を通じて、収穫まで数回、畑を見学して成長する姿を実際に見学する。

食育に関連すること

栽培経験を通じて、その野菜に興味や愛着を感じ、偏食是正につながることもある。当園では、スナップエンドウやオクラ、キュウリ、トマトなどもプランターで栽培を行った。その結果、同じような結果が得られた。野菜栽培を行うことで、食事が楽しくなり、また笑顔や会話が增えた。

やってみて感じたこと

幼稚園の子どもたちは、野菜の成長過程を実際に見る機会が少ない。ジャガイモの種芋を半分にしたものから、たくさんのジャガイモが取れたり、小さな一粒の種から大きな大根になる不思議さを実体験を通して感じてもらったこと。

区民が参加できる食育の取り組み

毎年、1月に東一の江幼稚園で行っている「餅つき大会」は親子ならどなたでも参加できます。

機関・団体のPR

園児たちと、幼稚園の農園でジャガイモや大根を、園庭ではプランター利用の野菜栽培を実施している。

連絡先： 東一の江幼稚園

電話： 03-3653-4726

代表者： 田澤 茂

e-mail： hik@hik.ed.jp

● ● 江戸川区私立幼稚園協会の取り組み



親子で健康!!楽しく食育!!勉強会

江戸川区認可私立保育園
保護者連絡協議会

目的 出来ることから食育を始める。

対象 子育て中の保護者

江戸川区が目指す食育の3本柱 <当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

普段意識しにくい、食育について勉強会で学び、他の保護者と意見を交わすことで、出来ることを考える

内容

- ・江戸川区民の健康状況
- ・心の安定は食卓に
- ・朝食の重要性
- ・江戸川区の食育推進について
- ・乳幼児の食育について

食育に関連すること

- ・食事中の会話を楽しむ事により、心の安定にも繋がる事を考えてもらいました。

やってみて感じたこと

- ・朝食を抜いてしまうと様々なリスクがあり、基礎代謝が低下し太りやすい体質になってしまう。結果として、糖尿病や肥満に繋がるので、幼少期から朝食（主食＋主菜＋副菜）をバランスよく摂取する事が大事なんだということを感じました。



● ● 江戸川区認可私立保育園保護者連絡協議会の取り組み



保育の中の食育

江戸川区私立保育園園長会
(みづえ保育園)

目的 ・食べることに興味を持ち一緒に楽しく食べる。
・食べることを通じて感謝の気持ちを持つ。

対象 全園児

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 友達や保育士、栄養士など身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう
- # 旬の食材を知り食べることで季節を感じる
- # 野菜栽培をし収穫することで野菜に興味をもつ
- # 野菜の皮むきやクッキング、給食当番などで料理作りに興味を持つ

内容

- ・給食やおやつを友達や保育士、栄養士など身近な人と一緒に食べる
- ・給食に旬の食材を取り入れること、野菜コーナーで子ども達に旬を伝える
- ・野菜栽培に関わる
- ・お魚屋さんに見学に行く
- ・野菜の皮むきやクッキングなど料理作りに関わる

食育に関連すること 上記の内容と同じ

やってみて感じたこと

日々の活動の中で、食材や料理に興味を持ち子ども自身が食べたい、食べてみようと思えることが楽しい食事の時間を過ごせることにつながると感じた。食育が単発にならないために「目指す子どもの姿」を栄養士と保育士が共通認識し食育を進めることが大切である。

区民が参加できる食育の取り組み

一時保育利用のご家庭に給食の提供をするなど、食育への関心を持って頂くよう取り組んでいる。

機関・団体のPR

保育園という立場から、日々の保育の中での食育活動を通じ子ども達（園児・地域のお子様）だけでなく、その保護者へも食育を発信し広めることが出来ている。

連絡先： みづえ保育園

電話： 03-3651-9007

e-mail： waterswan17@kuf.biglobe.ne.jp

代表者： 大石 亜紀子

● ● 江戸川区私立保育園園長会（みづえ保育園）の取り組み

人との関わり



事務所レストラン



給食風景

自然との関わり



お魚屋さん見学



なすの苗植え

料理づくりへの関わり



とうもろこしの皮むき



トマトケチャップ作り

食文化との出会い



こいのぼりごはん（こどもの日）



野菜コーナー

健診受診者への保健指導

江戸川区医師会
(医療検査センター)

- 目的** ・区民の健康意識を高め生活の質を向上・維持できるようにする。
・食生活改善により病気を予防し健康寿命の延伸を図る。

対象 江戸川区民

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 健診結果をもとに個別に保健指導を実施。日々の食生活の振り返りを行うことで、各々の問題点を認識してもらう。食から身体が作られているという意識を持ってもらうことで、食育の推進を図る。

内容

- ・健診結果をもとに個別に保健指導を実施。
(40～64歳：健診当日の保健指導実施 40歳未満・65～74歳：健診当日又は後日保健指導実施)
- ・健診結果から個々の受診者に合わせたオーダーメイドの情報提供冊子の提供
- ・保健指導では、メタボ脱出を目指すだけでなく、検査結果の改善を目標に食生活のバランスを整え(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事)、病気の予防を目指す。必要に応じて食事診断なども実施。

食育に関連すること

- ・朝食欠食のある人の意識を改善し、食生活のバランスを整える。
- ・生活習慣病予防に向け、野菜の摂取を増やし、糖分・塩分・脂質を摂り過ぎないようにする。
- ・健康づくりや生活習慣病予防のための食育が、区民の健康寿命の延伸へとつながる。

やってみて感じたこと

- ・長年の食習慣を改善することはなかなか難しいが、出来る事から始めることが必要。
- ・日々の食事から身体が作られていることを実感できていない者が多い。
- ・若いうちから食育を意識することで、子育てから介護まで様々な場面で食生活の大切さを実感できる。

区民が参加できる食育の取り組み

- ・国保健診後、対象者は無料で保健指導(専門スタッフによる個別相談)を受けることができる。
- ・センター来館者すべての人を対象に、希望者には食事に関するリーフレットなどを無料で配布。

機関・団体のPR

江戸川区医師会は、地域医療・福祉サービスおよび地域保健サービスを活動の大きな柱としております。これらはずべて、区民の皆さまの健康・福祉を守るためのもので、今後も一丸となって区民の健康増進、健康寿命の延伸のために努めて参ります。

連絡先： 一般社団法人江戸川区医師会(一般社団法人江戸川区医師会医療検査センター)

電話： 03-3652-3166

● ● 江戸川区医師会の取り組み



お口は健康の源

江戸川区歯科医師会公衆衛生

目的 ライフステージに沿って区民の皆様の健康のお役にたてる歯科医療の事業を江戸川区と協力して行う。

対象 江戸川区民

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 発達に応じた食べ方ができる
- # ゆっくりよくかんでいる
- # 口腔ケアの大切さを知っている

内容

良い歯の絵のコンクール等歯科のイベントの企画参加、健康サポートセンター歯科健診、成人歯科健診、高齢者のお口の機能検査、口腔がん検診、休日診療、在宅診療、口腔保健センターでは障害者(児)の診療と様々な事業を行っている。

食育に関連すること

各歯科医院にメニューグランプリカードを配布。患者さんにはよく噛むこととバランスの良い食事が健康寿命の延伸に繋がることを啓蒙している。

やってみて感じたこと

食育に意識のある患者さんがメニューグランプリカードを持っていくが、逆に本当に必要あると思われる患者さんは興味を示さないことが多い。

区民が参加できる食育の取り組み

各歯科医院でよく噛むことや健口体操等の啓蒙を行うと共に食育を取り入れ、患者さんのお口の健康が体全体の健康につながるようにしていきたい。

機関・団体のPR

歯科医師会では各種健診事業を江戸川区と協力して行っています。是非受診されることをお勧めします。

連絡先： 江戸川区歯科医師会

電話： 03-3658-1188

HP： http://www.edo418.jp

代表者： 歯科医師会会長 齋藤祐一

● ● 江戸川区歯科医師会の取り組み



薬局、健康講座、料理教室、子供支援の場で健康サポート（薬と栄養の教育）
江戸川区薬剤師会

目的 疾患の予防・進展防止・改善促進をサポート

対象 江戸川区民

江戸川区が目指す食育の3本柱
〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # **医食（薬食）同源**
（食が健康維持につながる）
（食が疾患の予防や治療促進を助けることがある）

内容

- # 薬物治療だけでなく食生活を改善し、予防や症状軽減、そして薬剤減量を目指す。
- # 栄養補助の相談をお受けし、栄養補助食品や特別用途食品などを提案。
- # 健康講座で、生薬や漢方薬の知識をもとに体の状態に合った薬膳講習会を実施。
- # 熟年料理教室で、食材の栄養素とその薬剤製品や歴史などを紹介。
- # 学習支援児童に対し栄養素やバランスの良い食事を説く。薬を利用する際には、薬に頼るだけでなく自己の強い体（自然治癒力）が基本であることや服薬に関する注意事項を講義。

食育に関連すること

- # 疾患の予防や原因の一つとして日々の食事が考えられる場合の食生活改善の指導。
- # 料理教室で、食材の注目すべき栄養素を紹介し、積極的に食し健康維持につなげて頂く。
- # 子供支援の場で、強い体作りの一つとしてバランスの良い食事が大切であることを意識付ける。

やってみて感じたこと

医療においても食事（栄養）が大切であることに興味を持って頂けた。区民の皆様がより楽しく意識的に食事をとり、健康維持につなげてくださることを願っている。

区民が参加できる食育の取り組み

タワーホール船堀での健康講座で、疾患や薬剤に加え、必要に応じて栄養補助を提案。料理教室や学習支援の参加者に、薬と食に関する講習会を実施している。

機関・団体のPR 【お薬相談】

薬剤師によるお薬相談を電話（フリーダイヤル）と面談（要予約）で行っております。お薬の副作用や飲み合わせなどのヨロズ相談です。薬剤師が親身になってご相談事に対応いたします。

〈電話によるお薬相談〉 0 1 2 0 - 0 9 3 - 4 9 0（10時～16時）（日・祝は休み）

〈面談によるお薬相談〉 予約 0 3 - 5 6 0 7 - 1 5 3 5（10時～17時）（土・日・祝は休み）

●●江戸川区薬剤師会の取り組み

～熟年料理教室～

- ★『青魚を食べよう』
注目すべき栄養素、医療現場での栄養素の活用例などを紹介します
- ★『経口補水液を活用しよう』
脱水・熱中症の予防を声掛けます(水分と電解質、経口補水液について紹介します)



～薬膳講習会～

- ★東洋医学の考え方を学んで、
季節・体質・体調に合わせた
食生活を提案します

～熟年相談室～

- ★介護者交流会などで、不足しがちな栄養素の認識を深め栄養補助の相談をお受けします



～児童のための保健教育です～

- 『強いからだをつくろう』
- ★栄養素の種類と、疾患に応じた栄養摂取を楽しく学びます
- ★自分でバランスの良い食事の組み合わせを考えてみます
- ★薬剤師のお仕事について学びます



学校給食の食材を知ろう

江戸川区食品衛生協会
(飯塚精肉店)

目的 学校給食用食材の流れを通じ、食の安心安全を知る。

対象 江戸川区内の小・中学生

江戸川区が目指す食育の3本柱 <当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

見学を受け入れ、学校給食用食材の流れを通じて食の安心安全を知る。

内容

小・中学生の職場見学や町内探索を受け入れ、精肉の仕分けをする工程を見学して頂き、衛生管理や食の大切さを学ぶことができる。

食育に関連すること

・食品衛生協会として、食の従事者の健康診断、温度管理を徹底したH A C C Pに沿った衛生管理の実施状況を知ってもらう。

やってみて感じたこと

- ・食品衛生協会加入店舗では、衛生の自主管理に力をいれていることから年間を通し食中毒等の事故が少ないことをPRできました。
- ・子ども達が食に関して大変興味を持ったように感じられました。

区民が参加できる食育の取り組み

- ・食品衛生協会と食品衛生推進員の協働で毎年「食品衛生大会」を開催し、過去には食を通じた子どもの成長支援等をテーマに座談会を実施しました。
- ・食品衛生街頭フェアで食に対するアンケート調査を実施し、食品衛生に関するパンフレットを配布しています。

機関・団体のPR

・江戸川区食品衛生協会は区内唯一の自主管理推進団体で、食品に関する各業種組合から構成されています。区内の食品衛生の普及啓発及び自主管理の向上を図り、区民の健康増進と食品業界の発展を目的としています。商品券がプレゼントされるクロスワードパズル抽選や、料理講習会等も実施しています。

連絡先： 江戸川区食品衛生協会（飯塚精肉店）

電話： 03-3670-0780

代表者： 飯塚 和一

● ● 江戸川区食品衛生協会の取り組み



ファミリーヘルス推進員活動

江戸川区ファミリーヘルス推進員会

目的 高齢期にあるみながフレイル予防に関心を持って頂き、社会に関わる事。
おいしく食事を取って頂く事、楽しく体を動かす事（皆でやっていただきたい）

対象 主に地域ミニデイの方、くすのきクラブ等

江戸川区が目指す食育の3本柱

<当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

ボードで手作りの布製の絵図等を使い、健口体操・栄養かぞえ歌を広め、ミニデイで食事のある所では、楽しく手作りの食事をおいしく楽しく食べて頂いている。

内容

- ・地域ミニデイ、健康講座、くすのきクラブ等で、体操、歌、特に健口体操は毎回楽しくやっている。
- ・栄養かぞえ歌も楽しく歌う。

食育に関連すること

- ・地域ミニデイにおいて手作りの昼食を提供している。自宅で作れた葉物を良く使っています。

やってみて感じたこと

- ・毎回おいしくきれいな盛り付けと喜んでいただけています。

区民が参加できる食育の取り組み

区では、多くのイベントがあります。各所のFH推進員が健康に関する事例、健口体操、栄養かぞえ歌など一緒に歌う。

機関・団体のPR

ファミリーヘルス推進員は健康に関する多くの事からを各地区の健康講座、各地域まつり等で、そして地域ミニデイ等で明るく活動しております。

連絡先： 江戸川区中央健康サポートセンター

電話： 03-5661-2467

●江戸川区ファミリーヘルス推進委員会の取り組み



わくわくクッキング

江戸川区地域活動栄養士会 E.S.K.

目的 料理を作る体験を通して食の大切さを知る機会とする

対象 4～6歳（未就学児）とその保護者

江戸川区が目指す食育の3本柱

<当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 食べることに興味がある
- # おいしく楽しく食べている
- # 望ましい食習慣が身についている
- # 家族みんな心も身体も元気

内容

- ・仲間と協力して料理を作ることで「自分でできた」という達成感と五感（味覚・視覚・臭覚・触覚・聴覚）を刺激することで、作ること、食べることの楽しさを体験してもらう。
- ・保護者と子どものペアや、子どもだけで調理実習を行い、出来た料理やおやつと一緒に試食する。
- ・「朝食を食べることの大切さ」「おやつについて」の講話を行う。

食育に関連すること

- ・子どもは、料理を作る楽しさを知る、誰かに食べてもらうことの喜び、自分でできたという達成感を感じる体験となっている。
- ・保護者は、子どもが料理を作る姿を見守ることで改めて子どもの持っている力を知る機会となっている。
- ・子ども、保護者ともに、食に対する関心が高まるきっかけとなっている。

やってみて感じたこと

- ・生の食材を目の前にして不安がっていた子どもが、実際に食材を手にすることで自信を持って調理することができた。
- ・食材に興味を持ち、苦手なものも食べられるようになった。
- ・朝食の大切さや、おやつの役割についても詳しく知ってもらうことができた。
- ・家庭でもやってみようというきっかけを作ることができた。

区民が参加できる食育の取り組み ぜひ参加して、作る楽しさや食の大切さを知ってほしい。

- ・親子で参加できるわくわくクッキング講座
- ・熟年男性料理グループの料理講習会
- ・江戸川区ウォーキングフェスタの会場内での栄養相談

機関・団体のPR

江戸川区地域活動栄養士会 E.S.K.は平成5年に「江戸川区在宅栄養士会 食と健康を考える会 E.S.K.」として発足した、江戸川区在住・在勤の栄養士の団体です。地域住民の食生活向上、健康増進に寄与する活動をしています。わくわくクッキング講座の開催、熟年男性料理講習会の講師、ウォーキングフェスタでの栄養相談など様々な活動をしています。また E.S.K.会員向けの勉強会や講習会を開き、会員の資質向上にも努めています。一緒に活動したいという方の入会をおまちしております。

連絡先： 江戸川区中央健康サポートセンター 栄養担当係

電話： 03-5661-2467

●江戸川区地域活動栄養士会 E.S.K.の取り組み



えどがわっ子食堂ネットワーク

えどがわっ子食堂ネットワーク

目的 地域における食を通じた子どもの居場所である「子ども食堂」、このネットワークは、実施団体間の交流、情報共有、研修、広報啓発、人材や食材のマッチングなどの支援を通じて、江戸川区内の子ども食堂の輪を広げていくことを目的としている。（運営規約より）

対象 江戸川区内で活動している「子ども食堂」、また子ども、子育て支援に関わる団体。

江戸川区が目指す食育の3本柱

<当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

それぞれの食堂が特色をもって、あたたかい気持ち食事を提供しています。保健所の専門職員の方から食や歯科衛生についてアドバイスいただくなど、連携を図り進めています。

内容

「おながへった！？おいでヨ いっしょに ゴハン食べよう！！」がスローガン

2018年2月に、江戸川区の協力を得てネットワークとして立ち上がり、年に2～3回程度の頻度で、会議を開催している。会議の中では、区内全域に、それぞれの食堂が特色を生かした取り組みを行っている「子ども食堂」の運営について情報交換を行っています。また、取り組む中で困ったことや問題点などを話し合い、互いに意見を述べ合うこともある。

食育に関連すること

江戸川区の食育推進事業と連携しながら、民間団体（なごみの家食堂も含む）として柔軟に個性を生かした「子ども食堂」を実施している。

やってみて感じたこと

現在、29団体が実施しており、このように子どもたちや子育て家庭、または地域の高齢者も対象とした子ども食堂があることは、江戸川区の地域力の凄さを実感します。それぞれ特徴はあるが、どの食堂も大勢の利用者が来店していることはとてもうれしい状況です。地域の人や企業からの提供品、カンパもたくさん届いていることにも感謝しています。

今後は、課題を抱えた人たちへの支援に手が届くような子ども食堂ネットワークとなるよう、地域の人たちや行政関係者との連携を強くしていきたいと希望します。

区民が参加できる食育の取り組み

子どもたちの成長する過程で、食事はとても大事なものです。さまざまな家庭がある中で、食事のあり方もさまざまで、子どもたちの育ちにも影響があると考えます。子ども食堂は、その中で、ほんの一部の支援でしかありませんが、大勢の人が参加して活動を担っており、地域の見守りにもつながります。

機関・団体のPR

「子ども食堂」は、地域のあたたかい思いをたくさん子どもたちにとけたい。そういう思いで立ち上がった地域の食堂です。「えどがわっ子食堂ネットワーク」は、子どもたちだけでなく、子育て家庭や高齢者まで対象とする「誰でも食堂」として、地域を支える活動を行っています。

連絡先： 江戸川区社会福祉協議会 えどがわっ子食堂ネットワーク事務局

電話： 03-5662-5557 e-mail： info@edogawakko.net

世話人： 藤居 阿紀子

● ● ● えどがわっ子食堂ネットワークの取り組み



【ネットワーク打ち合わせ会議】

年に数回集まり、食堂同士の情報交換、区からの子育てに関する情報周知、衛生講習会などを行います。



【みんなで囲む食卓】

みんなで食べると、苦手なものも食べられたり、マナーやお手伝いなどの食習慣も身につきます。



【多世代交流】

おじいちゃん・おばあちゃんと孫の世代で囲む食卓



【えどがわっ子食堂ネットワークののぼり旗】

黄色い旗を目印に、子どもたちが食堂に集まってきます。



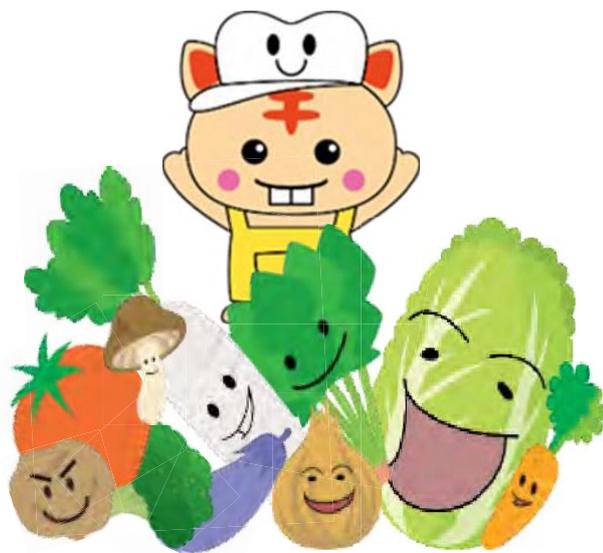
【ボランティアによる調理の様子】

多くの食堂でボランティアさんが調理や子どもの相手に活躍しています。



【メニューの一例 3月ちらし寿司】

季節のメニュー、ご当地メニュー、江戸川区特産の小松菜を使ったメニューなど、各食堂で工夫をしています。



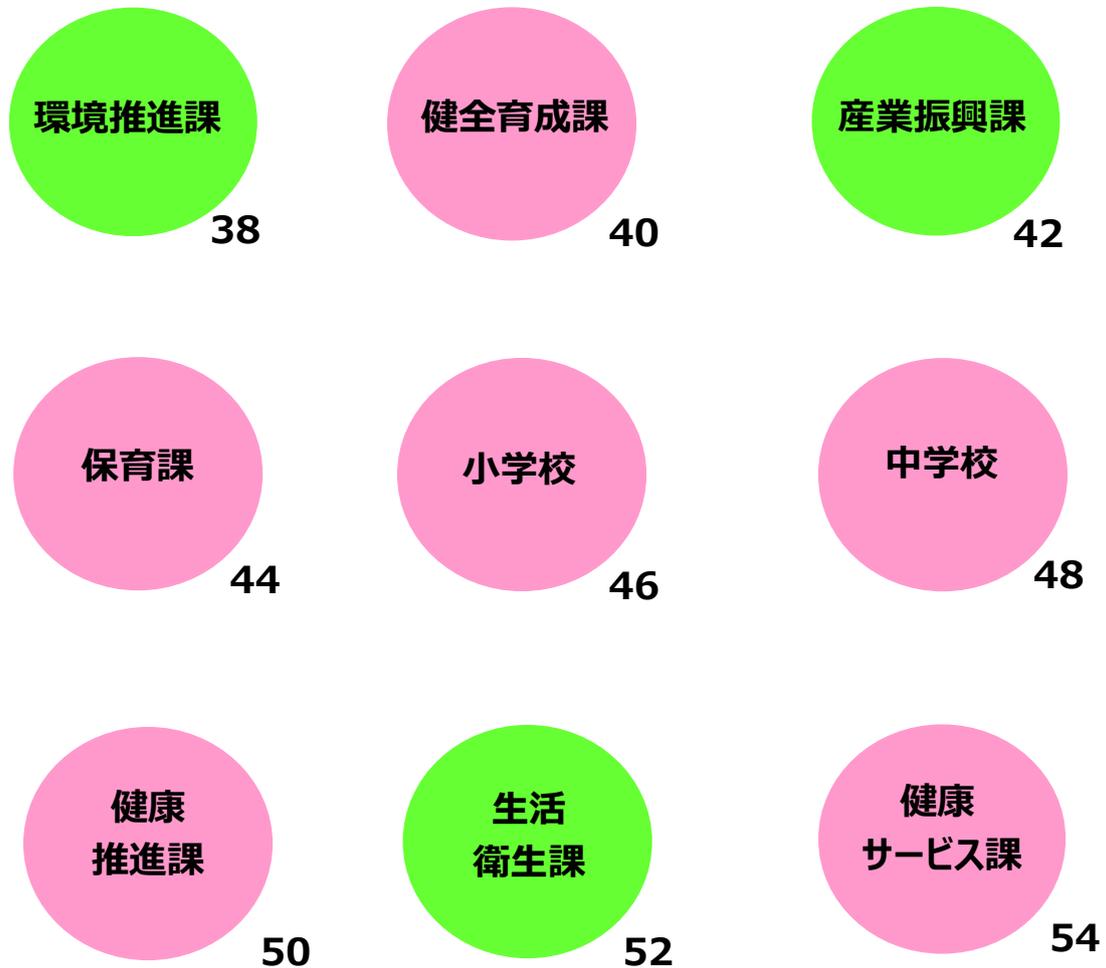
やさいーず



リッパー：江戸川区^{ハチマルニイマル}8020 応援キャラクター

●食育の取り組み事例

<食育推進会議>



▼江戸川区の目指す食育の3本柱▼

江戸川区食育推進会議の参加部署は、

- ピンク ①若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
 - オレンジ ②高齢期のフレイル予防
 - みどり ③食の循環や環境を意識した食育の推進
- をテーマに、多岐にわたる食育の取り組みを行っています。

「エコタウンえどがわ推進計画」の推進

環境推進課

目的 「日本一のエコタウン」をめざして、区役所各課やえどがわエコセンターと連携して「もったいない運動」や「エコカンパニーえどがわ」などの活動を展開し、区民や区内事業者等が身近な環境問題に取り組み、「エコタウンえどがわ推進計画」を推進する。

対象 江戸川区の居住者、在勤者及び区内事業所

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

「もったいない運動」や「エコカンパニーえどがわ」の取り組みを通し、食品ロス削減や省エネを意識した調理などを実践する。

内容

- ・区民一人ひとりが環境への配慮を心がけ、日々の暮らしの中で身近なごみ減量・省エネなどに取り組む「もったいない運動えどがわ」を推進する
- ・「もったいない運動」の事業所版である「エコカンパニーえどがわ」を推進し、区内事業者が環境にやさしい事業運営に取り組む

食育に関連すること

- ・「もったいない運動」：ガスコンロの炎は鍋底からはみ出さない、下ごしらえに電子レンジを活用する、生ごみは捨てずに堆肥にする などのエコクッキング、食事は残さずに食べる など
- ・「エコカンパニーえどがわ」：家庭での取り組みと同様の調理法のほか、業務プロセスを改善する、省エネ効果が高い設備を導入する、エネルギーロスを抑制した調理を行う など

やってみて感じたこと

- ・日々の行動の中にも、食育につながる様々な行動があることが分かる。

区民が参加できる食育の取り組み

- ・毎日の暮らしの中にも、食材の選び方や調理法、食事の仕方、生ごみの取り扱い、省エネ性能が高い家電製品を使用するなど、様々な取り組みがあります。

機関・団体のPR

- ・第三次食育基本計画で目標としている食品ロスの削減には、「もったいない運動」の実践がその取り組みにつながります。一人ひとりが、できることから少しずつ行動を実践し、「もったいない運動」にぜひご参加ください。

連絡先： 環境部 環境推進課 調査係

電話： 03-5662-6745

●環境推進課の取り組み



中高生 Kitchen

健全育成課 共育プラザ

- 目的** ①中高生が日常的な食事を調理できる力をつけることにより、健全な食生活と生きる力を培う。
②食事を皆で楽しむことにより、孤食への対応と社会性の育成をする。
③食事を通じた居場所支援・共育プラザの活用

対象 江戸川区在住の中学生、高校生

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

中高生が自ら調理する力を身に着けるとともに食や健康への大切さを認識する。

内容

- ①中高生が日常的な食事を自ら調理し、複数人で食事をする。
- ②中高生が、いつでも材料を持ち込んで調理できる場を設ける。
- ③材料の買い出しから中高生と行うことも想定する。
- ④プランター栽培で収穫した野菜を活用する。
- ⑤地域協力者の応援を得て地域・世代間の交流をする。

食育に関連すること

様々な国のメニューを調理することで外国への関心を高める機会にもなっている。

やってみて感じたこと

意外と男子中高生の参加率が高く、料理上手な人が多いことが分かった。

機関・団体の PR

共育プラザは中高生のための施設で区内に6館あります。音楽スタジオやスポーツルーム、談話室や学習室などがあり、思い思いに好きな時間を過ごすことができます。また、各共育プラザで独自のイベントや講座も開かれています。

連絡先： 江戸川区共育プラザ南小岩
e-mail： hiroyuki-shirakuma@city.edogawa.lg.jp

電話： 03-3673-2206
代表者： 白熊 弘之

● 共育プラザの取り組み 【小松菜料理】



江戸川区農業経営者クラブから小松菜を頂きました。



包丁の使い方を教わります。



新鮮な小松菜を茹でたり炒めたりして、それぞれの料理を作ります。



「やった完成！」



小松菜丼、小松菜スープ (小岩)



小松菜キーマカレー (平井)



小松菜焼きそば (葛西)



小松菜のかき揚げ、小松菜スムージー (南小岩)



小松菜蒸しケーキ (一之江)



小松菜クリームパスタ (南篠崎)

特産小松菜の PR

産業振興課

目的 江戸川産小松菜のブランド化と地産地消の推進

対象 全区民

江戸川区が目指す食育の 3 本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 区特産の小松菜を PR することにより、地元の農業や野菜への関心を高め、地産地消の推進を図る

内 容

PR 冊子「小松菜力」の発行、小松菜スタンプラリー・小松菜まつり等のイベント実施等

食育に関連すること

特産で、江戸川発祥の野菜「小松菜」を PR することは、地元産の野菜に興味・関心を持ってもらう点において、地産地消の推進につながると考える。

やってみて感じたこと

PR を継続的に行うことにより、いろいろな反響、効果がある。企業からのアプローチや地元の飲食店からの問い合わせ、マスコミ(テレビ・ラジオ)からの取材依頼など。現在の形にとらわれず、何らかの形での PR は継続して行うことが必要だと感じた。

区民が参加できる食育の取り組み

- ・小松菜スタンプラリー(例年 10 月～翌年 1 月)
- ・小松菜まつり(小松菜関連商品ブース販売等)

機関・団体の PR

産業振興課農産係は、農業・水産業の振興及び農業委員会の事務局を担当しています。特産品である小松菜やあさがおの PR や「花の祭典」などのイベントを実施しています。また、区民農園等の運営も行っています。水産業の振興については、三大生産地の一つである、江戸川区の金魚養殖業の PR、「金魚まつり」等のイベントを実施しています。

連絡先： 生活振興部産業振興課農産係

電 話： 03-5662-0539

代表者： 産業振興課長 関山健二

●産業振興課の取り組み

PR冊子「小松菜力。」～江戸川区のおいしい魅力ガイドブック～



区内施設、スタンプラリー参加店舗等で配布。
インターネットでダウンロードも可能。
小松菜の歴史、小松菜関連商品取扱い店舗、
直売所等様々なトピックスを掲載。

○小松菜まつりの様子(グリーンパレス 19.1.27)



小松菜関連商品の販売



JAによる小松菜の販売

○小松菜関連商品等



「小松菜焼酎」・
「小松菜発泡酒」



二代目TATSU～龍～
「江戸川小松菜餃子」



長寿庵 「小松菜そば」



忠三櫻本舗
「小松菜どらやき」



BAKERY NEW LIFE
「小松菜リュスティック」



JR 東日本とコロンバンとコラボ
「小松菜クッキー」



江戸川区だから美味しい！
「美しく結束」された姿は高品質の証！

区立保育園における食育講座

保育課

- 目的** ・朝食を食べる習慣づくり
・乳幼児期の栄養、食事について理解を深める。

対象 区立保育園保護者・児童

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 望ましい食習慣が身についている。
(しっかり食べよう朝ごはん)

内容 対象者別食育講座の実施

- ① 児童向け（30分程度）食育キャラクター使用の紙芝居、人形劇、パネルシアターで、朝食の大切さや講座当日の給食食材を3色（赤・黄・緑）に分類し、それぞれの働きを知る。
- ② 保護者向け（1時間程度）試食（だし汁）、野菜の見本を使用し、減塩、子どもに必要な食事量等への理解を深める。

食育に関連すること

食育キャラクターや食育標語（しっかり食べよう朝ごはん）をいろいろな媒体に使用（ポスター、各種リーフレット、保育課からの手紙、布団カバー、運動会記念品等）しているため無理なく区立園で継続をして食育が行えている。

やってみて感じたこと

食育キャラクターと食べ物との関係（食品分け）のわかる児童が増えている。朝食を食べる大切さ、その内容を振り返る機会になっている様子が講座終了後アンケートから伝わる（保護者）。

区民が参加できる食育の取り組み

区立保育園に地域の親子が遊びに来ている時間帯で食育講座を実施している場合には講座への参加も可能。

連絡先： 江戸川区役所 子ども家庭部保育課 給食指導担当係

電話： 03-5662-8104

● 保育課の取り組み



学校給食を教材とした食育

小学校栄養教諭

目的 生涯にわたり望ましい食生活習慣を身に付ける。

対象 在校生

江戸川区が目指す食育の3本柱 <当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

給食の時間や関連する教科での指導の積み重ねで、望ましい食生活習慣を養う

内容

- ・毎日の給食時間の指導（担任の指導により、衛生的な配膳・楽しく食べる・後片付けなど）
- ・給食時間の5分間指導（栄養教諭から給食を教材としながら食事のマナー・旬の食材や行事食などの話、衛生についての話などをする）
- ・生活科で旬の食材に触れる体験をし、親しむ（グリーンピース・そら豆・とうもろこしなど）
- ・社会科で給食を教材に考える（産地・ごみのゆくえ・自給率など）

食育に関連すること

- ・上記の内容の他に家庭科や保健学習など学校教育全体で給食の時間を中心に食育を意識した指導を行う。

やってみて感じたこと

- ・児童の食経験が限られている時代であり、地域や家庭での差もあるので、学校給食は児童が共通して体験することができる教材となる。学校給食の体験で心と体の醸成を目指したい。

区民が参加できる食育の取り組み

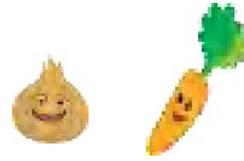
各小学校でPTAと共催で給食試食会が行われます。機会があれば参加すると、学校給食の栄養のバランスのことや、おいしく安全に作る工夫などについて理解が深まり、家庭の食事にも参考になると思います。

連絡先： 教育委員会学務課給食保健係

電話： 03-5662-1626

● 小学校の取り組み

【江戸川区立南葛西小学校】



1 年生活 そら豆のさやむき



1 年学級活動 箸の持ち方



2 年生活科 とうもろこしの皮むき



親と子の料理教室（朝食作り）

中学校栄養教諭

目的 ・食への興味・関心を高め、家庭での食事（朝食）のレパートリーを増やす一助とする。
・親と子で楽しみながら料理を作って食べる体験を通し、親と子のふれあいの場とする。

対象 篠崎中学校生徒と保護者・教員

江戸川区が目指す食育の3本柱

<当てはまるもの>

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

生活リズム向上公開講座の後に実施する朝食作りを通して、食生活の大切さを認識する。

内容

- ・生活リズム公開講座の朝食の大切さを踏まえて、1班4～5人で朝食を作り、作る楽しみ、食べる楽しみを味わう。
- ・切り方のコツや家庭での朝食作りなど交流しながら食事をする。

食育に関連すること

- ・大人と子供が一緒に調理することで、食を通しての交流ができる。
食に関する興味・関心が深まる。

やってみて感じたこと

- ・手作りの食事が簡単にできることがわかり、レパートリーが広がったと喜ばれた。
- ・親と子が一緒に料理をすることが普段の生活で少ないのでよかったとの感想があった。
- ・母親の手際の良さに感心する場面があり、実践すると必ず成果が得られると毎回感じている。

区民が参加できる食育の取り組み

学校給食の試食会や地域の方々をお招きしてのふれあい給食（学校からの案内により実施）生活リズム向上公開講座（地域の方々も参加可）を行っています。

機関・団体のPR

- ・健康な身体づくりに必要な食事を直接目で見て、味わう体験ができるのが「学校給食」です。「生きた教材」です。地元江戸川でとれる小松菜を地消しながら食の楽しさ・重要性を発信しています。

連絡先： 教育委員会学務課給食保健係

電話： 03-5662-1626

● 中学校の取り組み

【親子料理教室】

献立：おむすび・鶏肉と豆のトマト煮・野菜サラダ・小松菜みそ汁・変わりあんみつ

朝食作りの説明と諸注意



仲良く食事情報を交換中



自分で作った料理は格別の味ですね。



小中学校でのがん予防出前教室

健康部健康推進課

目的 小中学生が正しいがんの予防について学び、学んだことを家庭で保護者にも伝えることでがんをはじめとする生活習慣病による死亡率の減少を目指す。

対象 区立小・中学校の児童・生徒及びその保護者

江戸川区が目指す食育の3本柱 ＜当てはまるもの＞

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # バランスを考えた食事をしている
- # 望ましい食習慣が身についている
- # 規則正しい生活で心も身体も若々しい
- # 健康を意識している
- # 家族みんな心も身体も元気

内容

小学校は健康サポートセンターの保健師、中学校は医師会所属の医師が講師となり、「がん」は誰もがかかる可能性のある病気であること、正しい生活習慣により予防することができること、がん検診を受診して早く見つけて治療すれば治らない病気ではないことを伝え、小学校ではそのことを保護者にも伝えるワークシートを行う。

食育に関連すること

がん予防のための正しい生活習慣として、緑黄色野菜を多めにバランスの良い食事をする事、お酒はほどほどにすること、太り過ぎない・痩せすぎないことを伝えている。

やってみて感じたこと

テレビの影響か、ある特定の食べ物を食べればがんが予防できると考えている生徒も見受けられた。バランス良く食べる大切さを啓発していきたい。

区民が参加できる食育の取り組み

学校によっては学校公開日に開催していることもあり、保護者だけでなく地域の方々にも聴講いただければと思います。

機関・団体のPR

健康推進課では、7つのがん検診や成人歯科健診、骨粗鬆症検診、40歳未満の区民健診など無料で実施しております。令和元年12月からは内視鏡による胃がん検診も始まりました。地域の方で、お声を掛け合って、ぜひご受診ください。

連絡先： 健康部健康推進課

電話： 03-5661-2463 e-mail： kenkousuishin@city.edogawa.tokyo.jp

● 健康推進課の取り組み

第2問 野菜・果物をあまり食べない、塩辛い物をよく食べる…。かたよった食事はがんになりやすい？

正解 ○

かたよった食事は、がんだけでなくその他の病気の原因にもなります。

②食事はかたよらず、バランスよく

小学生向け講演資料より



小学校がん予防出前教室の様子



中学校がん予防出前教室の様子

食品衛生街頭フェア

生活衛生課

目的 区民が安全・安心な食生活を送るために、食中毒防止をはじめ食の安全に関する知識の普及、啓発をする。

対象 全区民

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

安全安心な食べ物をおいしく食べている

正しい食品衛生の知識を身に付けることによって、食中毒の被害から身を守り、健康における食の重要性を理解してもらう。

内容

毎年夏期にJR小岩駅シャポー小岩地下1階にて、食品衛生パネルの展示、食品衛生に関するアンケートを実施している。併せて食事バランスガイド・コマの普及、「食品ロス」軽減のための「えどがわ食べきり推進運動」の普及、パンフレット類の配布等を江戸川区食品衛生協会、健康サービス課、環境部清掃課と協力して行っている。

食育に関連すること

区民の食に関する疑問や意見に回答し、食に対する意識を高めている。また、「食品の安全性について不安を感じるもの」や「保健所から聞きたい情報」等についてアンケートを行い今後の普及啓発活動の参考としている。

やってみて感じたこと

アンケートの結果より、「食中毒」「食品添加物」「残留農薬」等について区民の関心が高いことがわかった。これらについて正しい知識の普及啓発に努めることが重要と感じた。

区民が参加できる食育の取り組み

食品衛生街頭フェア以外にも区民まつりにて江戸川区食品衛生協会と合同でブースを出しています。また、毎年夏期に総合文化センターにて江戸川区食品衛生協会と協働で食品衛生推進員が「食品衛生大会」を開催しています。

機関・団体のPR

食品衛生推進員：江戸川区では食品等事業者の食品衛生の向上に関する自主的な活動を促進し、区民の食生活の安全確保に寄与するため、食品衛生推進員を設置しています。

連絡先：健康部生活衛生課（小岩健康サポートセンター内）

電話：03-3658-3177

● 生活衛生課の取り組み



えどがわおいしいメニューグランプリ

健康サービス課

目的 楽しみながら食事を考えることで食についての興味や関心を高める。

対象 第8回まで子ども。第9回から一般区民

江戸川区が目指す食育の3本柱 〈当てはまるもの〉

- ① 若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
- ② 高齢期のフレイル予防
- ③ 食の循環や環境を意識した食育の推進

取り組みと食育とのつながり

- # 食べることに興味がある
- # おいしく楽しく食べている
- # バランスを考えた食事をしている

内容

毎年食育月間である6月にメニューを募集し、書類審査、食育推進連絡会委員による試食審査を経て入賞を決め、入賞メニューを活用して広く区民に向けて食育普及啓発を行う。

食育に関連すること

応募用紙を見ることで、食事バランスが大切であることが意識できるようにしている。応募することによってより意識を高め、目的である「楽しみながら食事を考えることで、食についての興味や関心を高める」ことにつながっている。

やってみて感じたこと

第7回より団体部門を設けた。団体部門では、個人では興味を持たない子どもたちも食に関心を持つ機会となった。

区民が参加できる食育の取り組み

第9回より、グランプリ応募対象を全区民としたので、どなたでも参加できます。

機関・団体のPR

食は人を良くすると書きます。料理を作って、みんなで食べて楽しみましょう。おすすめの料理をメニューグランプリに応募してください。待っています！

連絡先： 江戸川区葛西健康サポートセンター

電話： 03-3688-0154

● 健康サービス課の取り組み



団代部門グランプリ校の応募メニューの話し合いの様子



団体部門グランプリ校の表彰



二次審査の様子



二次審査の試食品



グランプリ・準グランプリメニューを区施設内レストランのランチセットで提供

江戸川区の食育推進事業一覧

江戸川区食育推進標語

「おいしいね 声に出そうよ 食卓で」

江戸川区の食育のめざすところ 健康寿命の延伸

すべての区民が食生活を楽しみ、生涯にわたり心身ともに健康でゆたかな人生を送る



江戸川区の食育の3本柱に当てはめた各団体の取り組み

対象	取り組み（事業名）	機関・団体・部署
全区民	・安心な作物の提供	農業経営者クラブ
	・ちゃぐりんフェスタ 親子 de クッキング	東京スマイル農業協同組合
	・健診受診者への保健指導	医師会
	・薬局、健康講座、料理教室、子ども支援の場で健康サポート(薬と栄養の教育)	薬剤師会
	・親子料理教室	地域活動栄養士会 E.S.K.
	・子ども食堂 ・えどがわっ子食堂ネットワーク	えどがわっ子食堂ネットワーク
	・全世代型食堂	社会福祉協議会
親世代・青年期	・えどがわおいしいメニューグランプリ ・食育ホームページ開設 ・食育講演会 ・食品栄養表示活用普及啓発 ・健康づくり協力店	健康サービス課
	・ファミリー健康アップ ・労基署への生活習慣病予防普及啓発 ・地域での食育講習会の講師受託	
妊婦	・妊婦面接 ・ハローベビー教室	歯科医師会
	・妊婦歯科健診	
乳幼児	・P T A 活動の中に食育活動の視点を取り入れる ・家庭で食育を実践する ・食育関連講座に積極的な参加	私立保育園保護者連絡協議会 私立幼稚園協会 P T A 連合会
	・園児・保護者への食育実施（一緒に食べる楽しさマナー、栽培、調理の下準備、調理、食材の名前の紹介等）	私立保育園園長会 私立幼稚園協会
	・健康サポートセンター幼児歯科健診	歯科医師会
	・保育園幼稚園を通じた情報提供	子育て支援課
	・食育キャラクターでの食への関心アップ ・オリパラに向けていろいろなおやつ、給食を頂きながらその国の食文化、スポーツ、国の位置等、興味関心をもつ ・保護者向けの食育講座実施(朝食の大切さ)	保育課
	・新生児訪問 ・助産師育児相談 ・2ヶ月児の会 ・乳幼児健診 ・離乳食講習会 ・栄養相談 ・乳幼児歯科相談 ・乳幼児歯科健診 ・保育園歯みがき指導 ・地域での食の担い手への支援 ・子どもを通じた親への朝食メッセージ	健康サービス課
小学生	・活動の中に食育の視点を入れる (キャンプ時の炊飯活動、各支部の行事食など)	子ども会連合会
	・P T A 活動の中に食育活動の視点を取り入れる ・家庭で食育を実践する ・食育関連講座に積極参加する	区立小学校 P T A 連合協議会
	・学校給食を教材とした食育	小学校
	・江戸川っ子家庭ルールの実施	指導室
小学生 中学生	・歯科保健事業（給食後の歯磨き）	歯科医師会
	・学校給食の食材を知ろう	食品衛生協会
	・小中学校でのがん予防出前教室	健康推進課
	・歯周病予防啓発リーフレット配布	健康サービス課
中学生	・食育全体計画、食育年間指導計画を各校で作成 ・多彩な給食の写真やレシピの紹介(各校ホームページ)	指導室
	・P T A 活動の中に食育活動の視点を取り入れる ・家庭で食育を実践する ・食育関連講座に積極参加する	区立中学校 P T A 連合協議会
	・オリンピック・パラリンピックに向けて外国のメニューの提供 ・地場産物(小松菜、明日葉、トビウオ)の提供 ・小松菜給食(区内生産地から直接配送)の提供	学務課
中学生 高校生	・親と子の料理教室（朝食作り）	中学校
	・中高生 kitchen ・小松菜を使った料理月間 ・中高生とボランティアで農作物の栽培 ・オリンピック・パラリンピックに向け、中高生 kitchen で料理の腕を磨いた中高生が、地域の方を「おもてなし」し、交流する。	えどがわっ子食堂ネットワーク 健全育成課・共育プラザ
~高校生	・食の支援事業（おうち食堂、KODOMO ごはん便）	児童女性課

1. 若い世代から食育を進め健康寿命の延伸につなげる

2. 高齢期の フレイル予防 (低栄養予防)	対象	取り組み(事業名)	機関・団体・部署	
	全区民		・食と健康講演会を開催する ・健診受診者への保健指導	医師会
			・口腔ケア健診(江戸川歯つらつチェック) ・各年代に向けた口腔疾患の予防活動及び口腔機能の発達支援と維持の重要性を普及啓発する	歯科医師会
			・健康講座を開催する ・薬と食、健康についての啓蒙活動 (学校薬剤師・スポーツファーマシスト活動等)	薬剤師会
			・活動の中で食育の普及啓発をする (広報誌の作成・講座開催・講習会への参加・栄養かぞえ歌の普及など)	ファミリーヘルス推進委員会
			・熟年者料理教室講師等の講師 ・地域で食の担い手として指導、講習を実施する	地域活動栄養士会 E.S.K.
			・えどがわっ子食堂ネットワーク	えどがわっ子食堂ネットワーク
			・データを分析し、食と健康の状況を区民にわかりやすく伝える	健康推進課
	熟年者		・ファミリーヘルス推進事業 ・地域健康講座 ・減塩大作戦 ・骨粗しょう症予防教室 ・生活習慣病予防イベント ・栄養、保健、運動、歯科相談 ・歯と口の健康週間イベント ・食品栄養表示活用普及啓発 ・地域での食の担い手への支援	健康サービス課
			・元気においしく(熟年者向け栄養情報リーフレット配布) ・フレイル予防セミナー ・えどがわ筋力アップトレーニング出張講座 ・栄養かぞえ歌の普及啓発 ・脳と体のトレーニングスクール ・給食施設における摂食嚥下調整食一覧の提示 ・健口体操の普及	
		・熟年者配食サービス(配食時に健康状態や安否確認なども)	福祉推進課	

3. 食の循環や 環境を意識した 食育の推進	対象	取り組み(事業名)	機関・団体・部署	
	全区民		・「もったいない」の実践を普及啓発する(環境に配慮した食材の生産消費・調理方法、リサイクル・エコ・クッキングなど)	えどがわエコセンター
			・安全・安心な作物や体験の場を提供する ・情報の提供や交流を積極的に行う	農業経営者クラブ
			・生産・製造・加工・流通・販売の各段階において、食の安全・安心を確保する(江戸川区内産の地場野菜の親子料理教室)	東京スマイル農業協同組合
			・店内での食育普及啓発をする(料理講習会の実施・店内での普及)	食品衛生協会
			・地域で食の担い手として指導、講習を実施する	地域活動栄養士会 E.S.K.
			・えどがわっ子食堂ネットワーク	えどがわっ子食堂ネットワーク
			・エコタウンえどがわ推進計画の推進 ① 区民のもったいない運動の参加促進 ② 事業者のエコカンパニーえどがわの参加促進	環境推進課
			・Edogawa ごみダイエットプラン(H28~H33) ・えどがわ食べきり推進運動 ① 30・10 運動(宴会・家庭版) ② 食べきり推進店 ③ フードドライブ	清掃課
			・冊子「小松菜力。」の発行、及び小松菜スタンプラリーの継続実施 ・直売マップの配布 ・農家からこども食堂への食材提供の検討 ・農業体験(区民農園、ふれあい農園等) ・小松菜クッキー開発(JR 東日本と区内農家・事業者による) ・小松菜トークイベント(無印良品からの依頼) ・キンビールとの協賛(江戸川産小松菜使用飲食店のPR) ・小松菜マラソン(小松菜のPR、商品に小松菜や小松菜関連商品使用)	産業振興課
			・食品衛生街頭フェア ・区民まつり ・町会回覧、広報板での啓発 ・食品衛生大会(食品ロスやこども食堂について話す)	生活衛生課
	幼児		・PTA活動の中に食育活動の視点を取り入れる ・家庭で食育を実践する ・食育関連講座に積極参加する	私立保育園保護者連絡協議会 私立幼稚園協会 PTA 連合会
			・園児・保護者への食育実施	私立保育園園長会 私立幼稚園協会
			・オリンピック・パラリンピックに向け、おやつや給食を通して、その国の食文化、スポーツ、国の位置等、興味関心をもつ ・日本の郷土料理を取り入れていく	保育課
	小学生		・活動の中に食育の視点を入れる	子ども会連合会
			・1,2年生(野菜栽培) 3,4年生(スーパーマーケットの見学、地域の農家の人々の暮らしを聞く) 5年生(消費者の視点・生産者の視点を考える)	小学校
小学生 中学生		・学校の食材を知ろう	食品衛生協会	
		・オリンピック・パラリンピックに向けて外国のメニューの提供 ・地場産物(小松菜、明日葉、トビウオ)の提供 ・日本料理の知識を広める ・小松菜給食(区内生産地から直接配送)の提供 ・行事食、郷土料理の提供 ・小松菜パッケージの検討(中学)	学務課	
中学生		・PTA活動の中に食育活動の視点を取り入れる ・家庭で食育を実践する ・食育関連講座に積極参加する	区立中学校 PTA 連合協議会	

食育事例集

「えどがわSHO・KU・I・KU STORY～江戸川区の食育の取り組み～」

編集・発行 2020年3月

江戸川区食育推進連絡会 江戸川区食育推進会議

江戸川区健康部健康サービス課健康サービス係

〒132-8507 江戸川区中央4-24-19 電話 03-5661-2466